

■ 北広島市健康増進計画策定上の要点と課題

①健康意識が高い

これは前回の調査でも明らかになっています。

公助、共助、自助、の中で 自助を強調される方もいます。

反面、公助の部分に大きな期待をかける方もいます。

意見や考えの多様性があります。

行政の役割は、この高い意識を尊重し、個々人が自分のライフスタイルにあった健康づくりが実践できるよう、手助けすることにあると考えます。

例としては、氾濫する健康情報の中から、必要な事項を選択する手助けや、運動や集まりがしやすいように 施設を整える事などです。

健康づくりボランティアや、サークル作りのお手伝いなど、共助の部分を応援する役割も大きいと考えます。

②連携

北広島市は人口規模では、行政と市民との協働活動や、行政内の連携も十分に深められる 大都市にはない利点があるといえます。この、顔の見える距離での活動が可能です。

③実践者の裾野を広げる

前述のように健康意識が高いのですが、健康に無関心な方も各年代存在します。

さまざまな取り組みをしても、関心のある方が一通り参加されると頭打ちになるという減少があります。工夫が必要になります。

④ 健康増進法制定をきっかけに、一時期減少した喫煙率が横ばいとなっています。広域の取り組みが必要な分野なので、引き続き道などとの連携が必要です。

⑤特定健診、特定保健指導の評価作業が必要です。

⑥子育て支援

妊娠期から継続して健康面からの計画をたてる事が可能なのは、この計画だけになります。子ども虐待予防の大きな役割もあります。継続して取り組む事が大切です。

⑤食への取り組み

健康づくりの重要な柱の1つです。各ライフステージすべてへの 取り組みを継続する事が必要です。

⑥地域活動

地域で、市民の方がお互い何気なく行っているさまざまな活動、例えば隣近所への挨拶や行事へのお誘い、サークル活動、敬老会などすべてが心身ともに健康ですごすための予防活動につながっています。

<本日意見や実態を聞かせていただきたい事>

課題の④に関連して

地域で感じる子育ての実態

- ・親の気持ちの変化
- ・しつけに対する考え方
- ・祖父母の育児力
- ・人間関係、コミュニケーション能力
- ・親子でどんな遊びをしているか

などです